福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業							事業コード	060202210105		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立			
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進					施策コード	832			
事業担当	所属	250200 産業部農業振興課					所属長	足立 譲治			
会計情報	款	06農林業費	項	02林業費	目	02林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	157・158	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☑ その他 （ 綾部市及び舞鶴市との共同運営 ）										
関連事業	有害鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）、有害鳥獣防除事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 シカ、イノシシ等の野生鳥獣により農作物等被害が発生しており、農作物の収量の減少による営農意欲の減退や荒廃農地の増加に大きな影響を与えている。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 捕獲した大量の有害鳥獣を安定して焼却処分するためには、焼却設備の定期的なメンテナンス及び改修が欠かせない。また、焼却炉への負担を軽減し、長寿命化を図るために、焼却時間の平準化が必要である。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるため、共通の課題を抱える中丹3市（福知山市、綾部市、舞鶴市）の共同利用施設として設置した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し捕獲意欲の増進を図り、農作物被害の軽減を推進する。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 捕獲された有害鳥獣を保管している一時保管用冷凍庫から回収する。 大江町三河に設置した有害鳥獣処理施設に運搬し、焼却処分を行う。 焼却残渣を福知山市・舞鶴市・綾部市に分け、各市の処分場に運搬する。 焼却施設等の維持管理を行う。 【主な利用特財その他分】 中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営他市負担金 雑入 32,444千円（45頁）

対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	199	単位あたりコスト	557.6
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☑ その他 （ 工事請負 ）				
委託先・実施主体等	城谷建設㈱、PSSユニオン、㈱ファノバ福知山営業所、㈱カナデビアエンジニアリング福知山事業所、㈱宮本工業所ほか				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	24,066	電気代、水道代、灯油代、ポリ袋・五徳等購入、施設修繕費			
役務費	72	建物総合損害共済分担金、燃えがら運搬料			
委託料	34,192	中丹地域有害鳥獣処理施設運転・維持管理業務、排ガス等測定業務、自家用電気工作物保安管理業務			
使用料及び賃借料	111	土地借上料、通信料			
工事請負費	39,475	焼却設備改修工事、一時保管冷凍庫設置・解体工事			
備品購入費	1,034	トロ舟購入			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	70,325	99,599	81,415	0
	② 補正予算	0	4,484	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	70,325	104,083	81,415	
予算財源内訳	① 一般財源	31,201	34,987	26,742	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	14,300	0	
	④ 地方債	5,200	15,500	16,700	
	⑤ その他特財	33,924	39,296	37,973	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	70,325	104,083		
	③ 執行額	66,804	98,949		
	④ 執行率	95.0%	95.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	1.05 / 0.05	1.45 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	8,540	12,020		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		75,344	110,969		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業（鳥獣被害防止総合対策整備交付金事業）	農林業費府補助金	13,184	26	
	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業（きょうと地域連携交付金）	農林業費府補助金	11,745	26	
	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	5,701	37	
	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業（過疎対策）	農林業債	4,200	50	
	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業（一般補助施設整備等）	農林業債	6,600	50	
	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業（行政改革推進）	農林業債	2,300	50	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	千円	15,874	34,224	59,802	27,890		
	野生鳥獣による農作物年間被害額	目標値		23,496	22,321	21,205	20,145	19,137	
		達成度	%	68%	153%	282%	138%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	頭	8,946	9,032	9,725	7,869		
	年間処理頭数	当初見込		4,205	4,205	4,205	4,205	4,205	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	焼却設備の定期的なメンテナンス及び改修、焼却炉の負担軽減のための冷凍庫増設								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	関連事業を含め有害鳥獣対策を推進し、処理頭数は減少し、令和7年度は令和6年度に比べ野生鳥獣による農作物被害が減少した。 施設を安定して稼働させることで、有害鳥獣捕獲の推進には寄与しているが、当初の処理計画頭数を大幅に超える処理頭数となっているため、焼却設備への負担を軽減する必要がある。
現状の課題に対する改善策	焼却設備を適宜適切に改修するとともに、一時保管冷凍庫を増設し、有害鳥獣の搬入が多い秋頃の焼却処理頭数のピークカットを行い、焼却設備への負担軽減を図る。（令和7年度に冷凍庫1台を増設した。）

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	有害鳥獣捕獲事業							事業コード	060202210108		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立			
	施 策 名	2 有害鳥獣対策の推進							施策コード	832	
事業担当	所属	250200 産業部農業振興課					所属長	足立 譲治			
会計情報	款	06農林業費	項	02林業費	目	02林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	158	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、福知山市鳥獣被害防止対策事業実施要綱、福知山市有害鳥獣捕獲事業デジタル簡易無線機導入補助金交付要領、福知山市有害鳥獣捕獲隊狩猟免許取得支援事業補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業、スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）、有害鳥獣防除事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 シカ、イノシシ等の野生鳥獣により農作物等被害が発生しており、農作物の収量の減少による営農意欲の減退や荒廃農地の増加に大きな影響を与えている。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 農作物等被害の軽減には、基本の3本柱である捕獲、防除、周辺環境管理を総合的に取り組むことが重要であり、捕獲の要となる有害鳥獣駆除隊員が安心かつ意欲的に捕獲活動に従事できる体制整備が必要である。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊による捕獲を効果的に実施する。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 捕獲活動に必要な許可証等の交付 捕獲実績に基づき、獣種や捕獲方法に応じた報償金を支払う。 狩猟免許の取得費用や、ハンター保険加入費用等の活動経費に対して支援を行う。 危険鳥獣の緊急銃猟に係る訓練を実施

対象者	福知山市有害鳥獣駆除隊員	対象者数	199	単位あたりコスト	480.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣駆除隊員					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	75,762	有害鳥獣捕獲報償金	負担金補助及び交付金	772	狩猟免許取得支援事業、賠償責任保険等補助
旅費	285	視察旅費			
需用費	1,055	消耗品費、印刷製本費、修繕費			
役務費	1,418	郵送料、電信・電話料			
使用料及び賃借料	211	複写機使用料、施設使用料、高速通行料			
備品購入費	591	トランシーバー・サーモグラフィーカメラ等購入			

Ⅲ 予算執行状況

区　分			R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算		102,662	100,622	93,926	0
	② 補正予算		0	△ 10,000	0	0
	③ 繰越予算		0	0	0	0
		前年度繰越	0	0	0	
		次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）			102,662	90,622	93,926	
予算財源内訳	① 一般財源		0	0	0	
	② 国支出金		0	0	0	
	③ 府支出金		49,446	40,531	48,459	
	④ 地方債		0	0	0	
	⑤ その他特財		53,216	50,091	45,467	
決算情報	① 流充用額		0	△ 15		
	② 配当予算		102,662	90,607		
	③ 執行額		91,629	80,094		
	④ 執行率		89.3%	88.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）		0.95 / 0.80	1.45 / 1.40	/	/
	② 概算人件費		9,840	15,520		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）			101,469	95,614		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	指定管理鳥獣対策事業	農林業費府補助金	1,451	25	
	緑の公共事業（有害鳥獣駆除関係事業）	農林業費府補助金	7,561	25	
	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業	農林業費府補助金	29,551	25	
	有害鳥獣捕獲事業基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	40,330	38	
	鳥獣捕獲等許可証等交付手数料	農林手数料	3	13	
	対象鳥獣捕獲等参加証明書手数料	農林手数料	2	13	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	千円	15,874	34,224	59,802	27,890		
	野生鳥獣による農作物年間被害額	目標値		23,496	22,321	21,205	20,145	19,137	
		達成度	%	68%	153%	282%	138%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	頭	5,130	5,318	5,767	4,386		
	年間捕獲頭数	当初見込		5,965	6,485	6,485	6,485	6,485	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	有害鳥獣駆除隊員が行う捕獲活動に要する経費の一部を補助する。 有害鳥獣駆除隊員が実施した捕獲活動に対し、捕獲実績に応じた報償金を交付する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	捕獲頭数は令和6年度に比べ減少したものの、関連事業を含め有害鳥獣対策を推進したことにより、令和7年度は令和6年度に比べ野生鳥獣による農作物被害も減少した。 高い水準の捕獲圧を維持しなければ農作物被害の増加が懸念される。
現状の課題に対する改善策	捕獲活動に必要な経費への支援や捕獲報償金の支給等を行うことで、有害鳥獣駆除隊員の積極的な捕獲活動の維持に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）							事業コード	060202210109		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち					政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立			
	施 策 名	2 有害鳥獣対策の推進							施策コード	832	
事業担当	所属	250200 産業部農業振興課					所属長	足立 譲治			
会計情報	款	06農林業費	項	02林業費	目	02林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	158	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業、有害鳥獣捕獲事業、有害鳥獣防除事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物等被害については、捕獲対策、防除対策を取り組んだことにより、平成24年度をピークに減少しているものの、農作物被害金額が依然として高止まりしている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 農作物等被害の軽減には、捕獲、防除、周辺環境管理の3本柱をバランスよく実施することが重要となるが、中山間地域を中心に過疎高齢化が進み、有害鳥獣対策におけるマンパワー不足が課題となっている。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 福知山市獣害対策モデル地区（夜久野町直見地区、三和町川合地区、大江町毛原地区）において実施してきたICT機器等を活用した地域住民主体の獣害対策の取組みで得られた獣害対策のデータやノウハウを有効活用し、他の地域においても水平展開を図り、地域主体の獣害対策の体制づくりを推進する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 市の鳥獣対策員が兵庫県立大学と連携し、水平展開地域（天座・市寺）で定期的にワークショップを実施し、地域主体の獣害対策に取り組む集落支援を行う。 兵庫県立大学と連携して開発した有害鳥獣駆除に係る実績報告にオンライン申請アプリを運用することで、福知山市有害鳥獣駆除隊員の負担軽減を図る。 農業従事者を中心に、獣害の軽減に興味・関心のある団体等に対して獣害対策出前講座を実施し、地域住民主体の獣害対策の啓発を行う。

対象者	総農家（2020農林業センサスデータ）	対象者数	3,081	単位あたりコスト	5.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	兵庫県立大学（兵庫県森林動物研究センター）、福知山公立大学					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	366	ソフトウェアライセンス、公用車燃料費、消耗品費			
役務費	330	タブレット通信費、通信機能付きセンサーカメラ通信費、自動車共済分担金、ドローン操縦更新手数料			
委託料	6,195	兵庫県立大学研究委託、福知山公立大学研究委託			
使用料及び賃借料	270	公用車長期継続契約賃借料、高速通行料			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	14,460	7,217	2,745	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	14,460	7,217	2,745	
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	1,439	
	② 国支出金	7,149	3,560	1,306	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	7,311	3,657	0	
決算情報	① 流充用額	0	5		
	② 配当予算	14,460	7,222		
	③ 執行額	13,839	7,162		
	④ 執行率	95.7%	99.2%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.80 / 1.80	1.07 / 0.40	/	/
	② 概算人件費	11,440	9,680		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		25,279	16,842		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）（新しい地方経済・生活環境創生交付金）	農林業費国庫補助金	3,533	17	
	スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）基金繰入（ふるさと納税基金）	基金繰入金	3,628	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	千円	15,874	34,224	59,802	27,890		
	野生鳥獣による農作物年間被害額	目標値		23,496	22,321	21,205	20,145	19,137	
		達成度	%	68%	153%	282%	138%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	9	10	4		
	獣害対策出前講座の実施	当初見込		3	5	10	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	獣害対策出前講座のPR								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度は野生鳥獣による農作物年間被害額が前年に比べ大幅に減少しており、獣害対策モデル地区においても被害の少ない状態が維持されている。 また、モデル地区で行ったワークショップでは、地域における獣害の状況を地域住民が把握され、具体的な対策を提案されるなど獣害対策への意識が高く、取組みの成果が発揮されている。 今後の地域主体の獣害対策の持続化と水平展開に向けては、地域住民の当事者意識の改善や、モチベーションの維持、向上が課題となっている。
現状の課題に対する改善策	令和6年度をもって、獣害対策モデル地区3地区すべてで支援の事業期間（3年間）が満了したものの、引き続き集落点検等を定期的に実施し、地区の要請に応じてワークショップ等をおこなうなど、引き続きフォローアップを行う。 また、モデル地区での取組みを水平展開するため、出前講座等により普及・啓発を行うとともに、取組みへの参画意欲のある地域に対し、積極的にアプローチをかけるなど、兵庫県立大学と連携し地域主体の獣害対策を推進する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	有害鳥獣防除事業							事業コード	060202210110		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち				政策目標	3 稼ぐ力のある農林業の確立				
	施策名	2 有害鳥獣対策の推進						施策コード	832		
事業担当	所属	250200 産業部農業振興課				所属長	足立 譲治				
会計情報	款	06農林業費	項	02林業費	目	02林業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	158・159	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定年度	令和10年度	関連計画名	福知山市鳥獣被害防止計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律、福知山市野生鳥獣被害防止対策事業補助金交付要綱、福知山市クマ対策支援事業補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業、有害鳥獣捕獲事業、スマートシティ推進事業（有害鳥獣捕獲）										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) （3行程度以内）	※事業を実施する背景や事業における現状 シカ、イノシシ等の野生鳥獣により農作物等被害が発生しており、農作物の収量の減少による営農意欲の減退や荒廃農地の増加に大きな影響を与えている。
課題 （3行程度以内）	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 農作物等被害の軽減には、基本の3本柱である捕獲、防除、周辺環境管理を総合的に取り組むことが重要であり、防除の要となる侵入防止柵の設置には、資材の調達に多額の費用がかかる。
事業目的 （5行程度以内）	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） シカ、イノシシ等の野生鳥獣による農作物等の被害を軽減するため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき侵入防止柵の設置等を支援することにより、「防除対策」を推進する。
実施概要 （5行程度以内）	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する侵入防止柵の設置等の有害鳥獣対策に関する事業に要する経費の一部を補助 大丹波地域サル対策広域協議会に所属する関係市町、関係機関と情報共有 申請のあった自治会が実施するクマの対策としての果樹の伐採又は管理に要する経費の一部を補助

対象者	総農家（2020農林業センサスデータ）	対象者数	3,081	単位あたりコスト	4.5
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	福知山市有害鳥獣対策協議会、大丹波地域サル対策広域協議会、申請自治会				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	52	有害鳥獣対策セミナー講師謝礼			
需用費	190	追い払い用花火購入			
役務費	127	郵送料、煙火講習受講料			
負担金補助及び交付金	681	福知山市有害鳥獣対策協議会補助金、クマ対策支援事業補助金、大丹波地域サル対策広域協議会市町負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	1,697	1,921	960	0
	② 補正予算	700	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,397	1,921	960	
予算財源内訳	① 一般財源	2,397	1,921	960	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	10		
	② 配当予算	2,397	1,931		
	③ 執行額	1,416	1,051		
	④ 執行率	59.1%	54.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.55 / 1.50	0.87 / 2.05	/	/
	② 概算人件費	8,600	12,700		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		10,016	13,751		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	千円	15,874	34,224	59,802	27,890		
	野生鳥獣による農作物年間被害額	目標値		23,496	22,321	21,205	20,145	25,454	
		達成度	%	68%	153%	282%	138%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	km	32	43	9	27		
	有害鳥獣侵入防止柵設置延長	当初見込		43	37.6	35.8	34.2	－	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する侵入防止柵の資材購入に要する経費の一部を補助する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	関連事業を含め有害鳥獣対策を推進したことにより、令和7年度は令和6年度に比べ野生鳥獣による農作物被害が減少した。 防除においては、侵入防止柵の設置、設置後の維持管理による侵入防止対策の徹底が重要であるが、人手が必要となるため、高齢化が進む中、地域における獣害対策の体制づくりが課題となっている。
現状の課題に対する改善策	有害鳥獣対策を地域の課題として認識していただき、地域で対策を取り組んでいただけるよう、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する研修会等の開催を支援する。